# 情報電子化学部門の拡充について

現在、液晶業界においては、大型テレビを中心とした市況の軟化と在庫調整等により需要の低速が続いておりますが、中長期的には大幅な伸長が期待されることから、当社は引き続き積極的に経営資源を投入し、中核事業として育成していく方針です。

このため、下記の諸策を実施し、顧客サービスの充実を図ると共に、コスト競争力を高め、研究開発のスピードをあげて、事業の順調な拡大を図ります。

# (I) カラーフィルター

(1) 住華科技股份有限公司(台湾)において、新工場を建設

●場所:新竹科学工業園区

●能力:5万枚/月(第二世代サイズ)

●完成:2005年9月

●投資額:約50億円

台湾における需要家の強い要請により、当社は同社工場内の既設クリーンルームの貸与を受けて新工場を建設いたします。現在、台湾へは、日本の新エスティーアイテクノロジー㈱から全量出荷していますが、現地生産によりコスト競争力の向上を図ると共に、今後の需要増に対応してまいります。

なお、新エスティーアイテクノロジーの供給余力は、今後の国内外 の需要増加に充当いたします。

#### (2) 韓国・東友 STI㈱の能力増強

現在、当社は韓国に2つの第五世代カラーフィルター工場を持ち、 生産能力は合計 12 万枚/月ですが、生産性の向上ならびにボトルネック解消のための少額投資により、本年夏頃までに合計 16 万枚/月まで 生産能力を増強を実施いたします。これにより、コスト競争力の向上 と将来の需要増加に対応いたします。

### (Ⅱ)偏光フィルム

## (1) 能力増強・拠点拡充

当社は現在、韓国、台湾においてそれぞれ第二期工場を建設中ですが、本年 3 月にこれらが相次いで完成いたします。これにより、当社の合計生産能力は、既存の 15 百万  $m^2$ /年から 26 百万  $m^2$ /年へ大幅に増加します。これらの能力拡大は、今後、伸長が期待される大型テレビ用途への供給に対応するものです。

また、需要が急速に拡大している中国市場に対応するために現在、 無錫に製品化工程の工場を建設中で、本年7月に完工いたします。さらに、中小型品のカラー化が進展する中で需要の伸びが著しい中国華 南地区での生産拠点を確保するために、近く香港に新会社を設立する 準備を進めています。 これらの市場における拠点の整備に加え、研究開発のスピードアップ、品質保証体制の充実、コスト競争力の向上のため、下記の施策を 実施いたしました。

① 情報電子化学品研究所(光学製品)

現在、大阪と愛媛に分散している研究員を統合すると共に、人員の 拡充、研究機器の充実を図るために、愛媛工場内大江地区のフィルム 工場に隣接して研究所の新棟を建設中です。

● 完工:2005年4月

● 投資額:10億円

- ② 品質管理センターと塗工工場の新設および新生産管理システムの導入
  - 完工時期:本年秋までに順次
  - 総投資額:約30億円

原反からチップカットまでの一貫生産体制を実現し、品質保証、デリバリー期間の短縮、コスト競争力の向上等大幅な改善を図り顧客満足度を向上させます。

品質管理センターはクリーンルームを新設し、高度な検品装置を導入し、原料や仕掛品の不良品が次工程に流れるのを事前に防止します。

また、現在リンテック社新宮工場(兵庫県)で実施している塗工工程を当社愛媛工場のフィルム工場隣接地に誘致し、生産のリードタイム短縮を図り、品質管理能力を向上させます。生産は引き続きリンテック社に委託しますが、当社工場と同様の管理を実施するため、クリーンルームやその他必要なインフラを充実するための投資を実施します。

新しい生産管理システムは、受注から配送までをオンラインシステム化することにより、各工程での生産状況、部材の供給状況、製品在庫の状況等を随時把握し、在庫の縮減、生産リードタイムの改善、顧客の生産要望へのタイムリーな応答を可能にします。

(Ⅲ)東友ファインケム研究所新設

韓国東友ファインケム(株)益山工場に新たに研究所を建設中であり、液晶材料(顔料レジスト、エッチャント)や半導体用フォトレジスト(主として KrF)、液晶用レジストの研究開発の拡充を図ります。

● 完工:2005年4月

● 投資額:約5億円

当社は、情報電子化学部門を当社の第三の柱として育成し、中核事業としての基盤を確固たるものにしてまいります。2004年度の情報電子化学部門の連結売上高は1,850億円を見込んでいますが、2005年度は2,300億円、さらに中期経営計画最終年度となる2006年度には2,500億円を計画しており、この達成を確実なものとするため、上記の諸施策を確実に実施してまいりたいと考えています。

以上